

6月定例会・議案など	2
6月定例会・一般質問	3～7
議案等に対する各議員の賛否状況	6～7
議員の行政視察など	8
委員会等活動報告	8

令和7年4月1日から令和7年7月10日までの出来事を掲載しました。



タイトル：殿に見せたい(松森町の)獅子
撮影者：木村 英丸さん

表紙写真について、令和7年1月11日から令和7年7月10日までの期間で、2点の写真のご応募がありました。ご応募いただきありがとうございました。表紙写真募集の次回の締切は、令和8年1月9日(金)です。

議 会 ト ピ ッ ク ス

全国市議会議長会議員表彰及び感謝状

6月6日(金)の本会議で、全国市議会議長会から表彰状及び感謝状の贈呈を受けた議員に対し、表彰状及び感謝状の伝達が行われました。



千葉 浩規
一般表彰 在職10年以上



木村 隆洋
一般表彰 在職10年以上



尾崎 寿一
全国市議会議長会
地方財政委員会委員としての
功績に対する感謝状
(※敬称略。)

議会運営委員会

- 定数9名
- ◎蒔 苗 博 英
 - 三 上 秋 雄
 - 竹 内 博 之
 - 成 田 大 介
 - 坂 本 崇
 - 石 山 敬
 - 木 村 隆 洋
 - 千 葉 浩 規
 - 松 橋 武 史

常任委員会及び 議会運営委員会の委員を改選

令和7年第2回定例会で、委員の改選が行われました。
※敬称略。◎委員長、○副委員長。委員は議席番号順に記載。

総務常任委員会

- 定数7名
- ◎外 崎 勝 康
 - 坂 本 崇
 - 工 藤 裕 介
 - 畑 山 聡
 - 千 葉 浩 規
 - 佐 藤 哲
 - 清 野 一 榮

厚生常任委員会

- 定数7名、現数6名
- ◎成 田 大 介
 - 志 村 洋 子
 - 三 浦 行
 - 齋 藤 豪
 - 木 村 隆 洋
 - 石 岡 千 鶴子

経済文教常任委員会

- 定数7名、現数6名
- ◎石 山 敬
 - 樋 川 篤 子
 - 須 藤 江利加
 - 竹 浪 敦
 - 三 上 秋 雄
 - 田 中 元

建設常任委員会

- 定数7名
- ◎蛭 名 正 樹
 - 工 藤 賢 生
 - 竹 内 博 之
 - 野 村 太 郎
 - 蒔 苗 博 英
 - 松 橋 武 史
 - 工 藤 光 志

令和7年第2回定例会

市長提出議案 16件

【会期：令和7年6月6日(金)～7月2日(水)】

6月補正後の令和7年度予算

一般会計 886億1416万9千円
 (6月補正額 1億8616万9千円)
 特別会計 407億9600万3千円
 (6月補正額 0円)

●令和7年度弘前市一般会計補正予算(第3号)

名誉市民顕彰事業などに係る経費を計上するほか、雪害復旧に係る市営住宅等管理工事などを追加するものです。

また、繰越明許費及び地方債について所要の補正をするものです。

補正額 1億5561万5千円

●令和7年度弘前市一般会計補正予算(第4号)

国の補助金を活用する事業について、歴史的資源を活用した観光まちづくり事業に係る経費を計上するほか、ゼロカーボンシティ推進事業及びひろさきガイド学校運営事業に係る経費を追加するものです。

補正額 3055万4千円

その他の議案

○弘前市名誉市民の決定について

弘前市名誉市民の決定について、弘前市名誉市民条例第3条の規定により、議会の同意を求めるものです。

ふじの みちまさ
 藤野 道格 氏

【生年月日】昭和35年9月4日

【居住地】米国ノースカロライナ州

【事績の内容】

昭和35年、東京都に生まれる。

昭和43年から弘前大学教育学部附属小学校及び同学部附属中学校へ通い、昭和54年、青森県立弘前高等学校を卒業。昭和59年、東京大学工学部航空学科を卒業後、本田技研工業株式会社へ入社。

昭和61年から航空機開発に携わり、固定概念を覆す設計により、高速性能や燃費性能に優れ、さらに室内空間を最大化したクラス最高の性能を誇る先進小型ビジネスジェット機「ホンダジェット」を開発。

平成18年、ホンダエアクラフトカンパニーを設立し、社長兼CEOに就任。その後、「ホンダジェット」の認定の取得、生産に加え、サプライチェーンや全世界販売のネットワークの構築を成し遂げ、事業化を成功させる。

令和4年に、ホンダエアクラフトカンパニーの顧問となり、現在は広く後進の育成に尽力している。



弘前市マスコットキャラクター
 たか丸くんりんごバージョン

「弘前市名誉市民」の称号は、市民又は本市に縁故の深い者で、広く社会の発展及び文化の興隆に貢献し、その功績が特に著しく、市民から深く尊敬されている方に対し、贈られるものです。

弘前市・弘前市議会合同で 市内りんご園地の視察を行いました

4月9日(水)、大雪に伴う市内りんご園地の被害状況を確認するため、市と市議会が合同で視察を実施しました。当日は、石川・相馬・東目屋の園地を視察し、被害の状況について情報収集を行いました。

市議会では、このような状況で必要となる対応について、生産者の声も聞きながら、市と一体となり全力で取り組んでまいります。



視察には市長、市議会議員、農業委員等が参加し、現地生産者からの説明に耳を傾けました

弘前市議会議員研修会を開催

7月4日(金)、市議会は、議員の政策形成及び政策立案能力の向上を図ることを目的に、ヒロロスクエアで議員研修会を開催しました。研修では、「通年議会及び議会の機能強化について」と題し、青森大学社会学部 教授 佐藤 淳 氏によるグループワークを交えた講演が行われました。また、研修会の終了後には意見交換会を行いました。



佐藤教授による講演



グループワークの様子

弘前市議会ホームページ

<https://www.city.hirosaki.aomori.jp/gikai/index.html>

インターネットによるライブ中継・録画中継、会議録検索システム、議会の日程など、市議会の情報はこちらでご覧いただけます。



一般質問

質問・答弁の要約を掲載いたします。
 ※敬称略。()は所属会派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。
 ※QRコードを読み取ると、一般質問の録画映像を閲覧することができます。



志村 洋子
(創和・公明)



不登校支援について

問 不登校児童生徒に対する学校及び教育委員会の対応について問う。

答 学校では、学級担任が不登校児童生徒とのつながりを保つためにタブレット端末を利用したり、学習の遅れに対する不安を取り除くためにA Iドリルを活用している。教育委員会では、全ての中学校区に心の教室相談員を配置するとともに、教育センターに設置している相談支

援チームが専門機関などと連携して対応しているほか、弘前市総合学習センター内に設置しているフレンドシップルームにおいて集団生活への復帰に向けた支援を行っている。このほかにも、グラウンドゴルフなどの軽スポーツやチャレンジ自然ふれあい体験事業への参加を促す取組を行っている。

〈その他の質問項目〉○除排雪事業について ○子育て支援について



石岡 千鶴子
(無所属(りんごの会))



狭隘道路対策について

問 解消に向けた市の検討状況を伺う。

答 狭隘道路とは幅員1.8メートル以上4メートル未満の道路である。後退用地の整備を個別に実施するだけでは、狭隘路線全体の解消に長い年月を要するため、路線全体を一斉に整備することが望ましいと考えている。そのためには、沿線住民の後退用地の寄附に係る合意形成等に課題があると認識しており、課題解決に

向けて引き続き調査・研究していく。

ユネスコエコパークについて

問 津軽地域の中核である市として、今後、ユネスコエコパークに取り組んでいくのか伺う。

答 白神山地のユネスコエコパーク登録については、市が参画する「環白神エコツーリズム推進協議会」において、構成自治体等で協議したい旨を提案し、今年度から登録の条件や効果等を協議する。



松橋 武史
(櫻鳴会)



1個10万円以上の「極りんご」について

問 ブランド化に関し市の考え等を伺う。

答 付加価値の高いりんご生産は、生産者の営農意欲向上や若い世代が生産に興味を持つきっかけの一つになると考える。

「ねぶたバンク」創設について

問 市を中心に、骨組み等を譲りたい方、譲られたい方をつなぐバンクを創設し、情報発信することで、まつりに参加しやすい環境が整うと考える。市の考えは。

答 市は、弘前ねぶた参加団体協議会や弘前ねぶた保存会等と協議・連携し、既存の売買情報のほか無償譲渡の情報や骨組み等の写真を加える等内容充実を図り仕組みが有効に機能するよう取り組む。

弘前市の交通安全の取組について

問 取組の内容等について伺う。

答 交差点で高齢者が被害者となる割合が高くなっており、効果的な啓発活動のほか市民への情報発信の強化に取り組む。



竹内 博之
(弘前さくら未来)



市職員が成長する自治体は市民も幸せになるための、人材育成ビジョンの再構築

問 仕組みの整備をどう考えるか。

答 行政課題が複雑・多様化する中、職員が日々成長し、能力が十分に発揮される、時代に即した組織づくりを行う必要があることから、弘前市職員人材育成基本方針の改正に向けて作業を進めている。

市民目線の本質とは何か、要望活動と市長の政治姿勢について

問 地元アイドル同行の経緯等を伺う。

答 新聞報道の事実関係としては、岩木川上中流改修期成同盟会総会で事務局から「インフラに関する県の広報活動等でも活躍中のりんご娘のメンバーに同行いただく方向で検討中」の旨を説明したが、同盟会の活動は会員の合意を得た上で調整を進めることが重要。事務局を担う市としても限られた時間で効果的に成果を上げられる要望活動が行えるよう努める。



工藤 賢生
(奏望会)



森林の再生と適正管理の必要性

問 森林整備等への理解を深めるための啓発も重要と考えるが、市の見解を伺う。

答 森林に対する関心を高めることで林業の振興を図ることを目的に、木材普及啓発事業を実施しており、県産の間伐材やりんごの剪定枝等を活用した木工製品を製作し、市役所本庁舎等に設置する等、市民に見て触れてもらう活動を行っているほか、今年度新たに、市として初めて

の開催となる市民植樹祭を10月に予定。

多面的機能を有する農業の再生と保全

問 農業・農村の基盤である農道や水路といった農業用施設等の老朽化にどのように対策していくのか伺う。

答 弘前市総合計画に「農業生産基盤の整備・維持改善」を施策として掲げ、国の補助事業を有効に活用しながら将来にわたって安定的に営農できる環境整備の推進に取り組んでいるところである。



佐藤 哲
(櫻鳴会)



再三にわたり繰り返される新浄水場工事費の増額について

問 増額費用の根拠を伺う。

答 安定した浄水場の運営管理とコスト削減のためDBO方式により浄水場等建設事業を開始し、令和8年度供用開始に向け進めているが原材料価格の高騰等が契約当初の想定を上回る理由で、令和4年度に約9億8000万、5年度約3億2000万、6年度約9000万の増額変更契約をし、

契約額は現在約131億7000万円。市民の御理解をいただき事業を実施していく。

今冬の大雪被害支援策について

問 文化財保護の支援について。

答 弘前城二の丸末申櫓の修理は事業費1億7690万円と見込み、国の補助金等を活用して市負担分は272万円。高照神社廟所門の修理は関係機関と協議中だが工事期間や事業費は明確になっていない。国や県等と連携し、適切な支援を行う。



三浦 行
(日本共産党)



平和行政について

問 本市における平和行政の取組は。

答 平成22年には市議会において平和都市宣言が決議され、平成24年には市役所前に平和都市宣言碑を建立したほか、平成23年からは平和首長会議に加盟している。今後も市議会や市民とともに、戦争の悲惨さ、平和の尊さを次世代へ伝え、人類共通の願いである「世界の恒久平和の実現」に向けた取組を行っていく。

本市でのスポーツを応援する文化について

問 みて応援するスポーツへの取組は。

答 プロ野球一軍戦やトップアスリートが所属するチームの合宿を誘致し、多くの市民が一流の技術に触れる機会を創出し、選手やチームを応援する市民が多くなるよう各種事業を展開していく。

〈その他の質問項目〉○気候変動の中のりんご農業支援について



成田 大介
(弘前さくら未来)



プラスチックごみの再資源化等について

問 今後どのような姿勢で臨むのか。

答 広域化による効率的なごみ処理や財政負担の軽減等を目的に設置した津軽地域ごみ処理広域化協議会でプラスチック資源に係る協議項目を追加し、様々な再資源化の方法について検討することとした。市民への丁寧な説明と8市町村で連携し取組を進め、弘前圏域全体の脱炭素化と持続可能な社会の実現へつなげる。

教育・保育施設について

問 現状について伺う。

答 本年4月1日時点で本市の教育・保育施設数は73施設、合計した定員は5,230人で前年同月比で206人減少、利用児童数は4,082人で215人減少、定員充足率は80.0%で2.0ポイント減少となっている。保育士確保が難しい状況の中、各施設には通常保育等の実施と併せて各事業に御協力いただいている。



蛭名 正樹
(創和・公明)



農道除雪の課題と今後の対策について

問 りんご農家の方々から3月中旬以降も除雪がなかなか進まなかったとの声もある中、今後の対策に関する市の見解は。

答 農道除雪は、早期に着手したものの、想定以上の積雪や倒木等が作業の進捗に影響したことに加え、市直営が市道等の除排雪にも従事していることから、例年より完了が遅くなった。市としては、昨冬の農道除雪の状況をしっかり検証し、

今年度から改善できる点は早急に対応し、昨冬のような豪雪時でも早期の農道除雪の実施が可能となる体制を整えていく。

〈その他の質問項目〉○豪雪による影響と今後の対策（雪害被害の実態と今後の対応策、道路除排雪及び予算執行の実績と今後の対策）○弘前市の水田農業の実態と今後の方向性（弘前市農業再生協議会の役割、今年の水田作付の実態、来年度以降の水田農業の方向性）



野村 太郎
(無所属(東雲))



なかよし会について

問 夏休みなど長期休暇中の昼食提供に関するアンケート調査結果について伺う。

答 令和7年度になかよし会及び児童クラブの利用申込みや申請をした保護者を対象にアンケート調査を実施したところ、利用の意向があった方は、回答者1,399人中1,252人で89.5%、利用料金については、「500円未満」を希望する方が最も多く、1,066人で76.2%となった。昼食

で重視することについては、「献立や栄養バランス」と回答した方が679人で48.5%、次いで「料金」と回答した方が、457人で32.7%となった。アンケートの実施結果から、昼食提供に関しての保護者のニーズが非常に高いこと、また、料金を抑えつつも献立や栄養のバランスも重要視していることが明らかとなった。

〈その他の質問項目〉○弘南鉄道○市立小学校における水泳事業



齋藤 豪
(奏望会)



人口減少について

問 市の対策や方向性について伺う。
答 人口減少や少子高齢化への対策として、移住施策など人口増加に向けた取組や、都市間の交流で地域住民同士が触れ合う機会を創出するなど関係人口の拡大に向けた取組のほか、市で暮らす方々に将来にわたり住み続けたいと思ってもらえるまちづくりを進める必要がある。市では、人口減少のスピードをできるだけ

緩やかにするとともに、関係機関との連携を強化し交流人口や関係人口の創出を図る等、持続可能なまちづくりを進める。

農業行政について

問 今冬の雪害に関し、市はりんご産産をどのように支援していくのか伺う。
答 市では苗木や支柱の購入を支援することとしているが、国の支援対象とならない部分を補完できるよう、改めて制度設計し、速やかに生産者へ周知していく。



畑山 聡
(創和・公明)



高齢者健康トレーニング教室について

問 目的やその効果について伺う。
答 市では、高齢者が介護の必要な状態にならないこと、介護が必要になっても悪化を防ぎ、軽減を目指すことを目的として、介護予防、認知症予防の推進に取り組んでいる。介護予防には運動機能の維持やバランスの良い食事などに留意し、高齢者の生活機能の低下予防を図り、地域活動への参加等による社会との接点を

通して役割や生きがいを持ち続けることが重要である。ヒロロスクエア教室とロマントピア教室は、パワーリハビリテーションマシンにより、動作性と体力の改善を図っている。温水プール石川教室ではサーキットトレーニングの実施により、全身の持久力や筋力の増加と柔軟性とバランス感覚等の向上が期待できる。

〈その他の質問項目〉○学校教育におけるデジタル化、AI化について



蒔苗 博英
(創和・公明)



豪雪によるりんご樹の雪害状況と今後の対策について

問 被害に対する国の支援は。
答 当市のりんごの被害額は約64億5000万円に上っており、この甚大な雪害に対し、国では、被害樹の改植に対し10アール当たり17万円、被災樹体を残し生産量の減少を最小限にとどめながら改植を進める、いわゆる漸進更新に対し10アール当たり15万円、改植後の未収

益期間への支援として10アール当たり22万円の補助等を実施する予定である。

今後のプロ野球誘致について

問 誘致活動に対する市の取組は。
答 本年1月に広島東洋カープを訪問し、今後のセントラルリーグ公式戦開催の協力を要望している。今後も楽天野球団等との関係性を大切にしながら、各方面に積極的な働きかけを行い、セパ両リーグ公式戦の開催を目指していく。



樋川 篤子
(弘前さくら未来)



教育行政について

問 特色ある教育活動への対応について。
答 令和2年度から総合的な学習の時間に加え、学校行事や各教科等の中でも幅広く取り組めるようにひろさき市学の内容の拡充や児童生徒の主体性を育み、学校の主体性を促し尊重するために特色ある学習活動を支援する「未来をつくる子ども育成事業」を実施。家庭や地域社会と協力し、教育活動の充実が図られるよ

う、支援及び指導・助言をしていく。

問 部活動改革について。

答 令和8年度から現行の部活動を「クラブ化」する方向で見直し、現段階で、管理面、指導面ともに地域団体等に任せ「地域クラブ」、これと管理面は学校が行いながら、指導面を外部に委託する「学校クラブ」とを想定している。

〈その他の質問項目〉○弘前ねぶたまつりの今後の在り方 ○市の防犯体制

令和7年第2回定例会日程 (27日間) ○傍聴者の数：89人

6月6日(金) 本会議	開会、会期の決定、 常任委員・議会運営委員の選任、 一部事務組合議会議員の互選、 提案理由の説明	6月20日(金) 本会議	一般質問、議案付託
	ひろさき市議会だより編集 議案熟考	6月24日(火) 常任委員会	総務、厚生、 経済文教、建設 議会改革 予算決算 議事整理
	特別委員会	6月25日(水) 特別委員会 常任委員会	各委員長報告、 質疑、討論、 表決、閉会
6月7日(土)～6月16日(月)		6月26日(木)～7月1日(火)	
6月17日(火)～6月19日(木)	一般質問	7月2日(水) 本会議	
本会議			





石山 敬
(創和・公明)



介護分野における電子化推進について

問 当市の状況を伺う。
答 地域密着型サービス、居宅介護支援、介護予防支援は令和6年6月から電子申請・届出システムで対応する受付が可能。介護予防・日常生活支援総合事業は本年11月からの運用を目指す。現在従来の申請と並行して運用中だが令和8年4月の当該システムでの申請一本化を目指し、事業者に改めて周知を図った。

空き家対策のさらなる推進と活用

問 弘前市空き家活用リフォーム事業費補助金について伺う。
答 地域コミュニティの維持・再生の用途に10年以上活用するための改修で市が定める省エネ化の措置があれば費用の一部を補助。今年度は100万円を予算計上。
 〈その他の質問項目〉○自治体SDGs 未来都市及びモデル事業の進捗状況や現場の課題、そして今後の展望について



工藤 裕介
(弘前さくら未来)



ふるさと納税の現状と今後の展望

問 市の今後の展望等を伺う。
答 令和6年度の寄附実績は過去最高額の約14億3380万円で、前年度比で約7.2%、約9677万円増となった。寄附額の目標値は設定していないが、寄附額をさらに伸ばし、今後も市の活性化に資する事業へ活用すべく、事務効率化を図りつつ魅力的な返礼品を寄附者に提供することが重要と考える。このため、改めて

様々なアイデアや実績を持つ中間事業者から企画提案を広く募集することとし、本年3月のプロポーザル審査の結果、秋田県北秋田市に本社を置く株式会社ウィルドリブンに決定した。デザイン性の高いポータルサイトのページ制作や、主力返礼品であるりんご以外の新たな返礼品の開拓、寄附者への細かな対応等の優れた提案が事業者からなされており、より魅力的なふるさと納税の運営に努める。



外崎 勝康
(創和・公明)



関係人口「ふるさと住民登録制度」

問 市の考えを伺う。
答 当市ならではの特色ある事業を展開し、関係人口の創出に取り組んでいく。
こども家庭センターについて
問 産後ケア事業の改善計画を伺う。
答 対象者要件に里帰り妊産婦、流産や死産を経験された方を追加し、実施施設を2施設増やし支援体制を強化した。
RSウイルス感染症について

問 高齢者への注意喚起を行う意向は。
答 市のホームページやSNS、コミュニティFM等で広く市民に周知していく。
問 ワクチン接種助成の市の考えは。
答 国が予防接種法の定期接種に位置付けた場合には、速やかに対応したい。
教科担任制について
問 市の現状と今後の方向性を伺う。
答 令和6年度に実施した市立小学校は、32校中23校。今後も推進を図る。



坂本 崇
(奏望会)



中心市街地の今後の在り方について

問 新たに市民会議を設置する意図や狙いについて、市の考えを伺う。
答 第3期中心市街地活性化基本計画策定に当たり、これまでの計画に携わった方々に加え、まちを訪れる、活用する方々からも意見やニーズを聴取し、専門家の助言を得ながら、これからのまちに必要な機能や、求められる機能を分析し、策定したいと考え、市民参加型の「弘前

まちなか未来会議」とワークショップ形式の「まちなか未来ラボ」を設置することとした。会議やワークショップでの意見等は、弘前まちなか未来会議の中で取組成果として公表予定。行政と市民が丸となって未来の都市像を描き、各分野の関係者が連携し、それぞれの役割を担いながら、特性や強みを活かした中心市街地の活性化を図っていく。
 〈その他の質問項目〉○ラーケーション

議長（尾崎寿一）は採決に加わっていません。

令和7年第2回定例会審議結果

※議会での慎重審議により、承認、可決となりました。

市長提出議案：16件

予算関係：5件、条例関係：7件、その他：4件

木村 隆洋	千葉 浩規	野村 太郎	外崎 勝康	尾崎 寿一	蒔苗 博英	松橋 武史	石岡 千鶴子	三上 秋雄	佐藤 哲	工藤 光志	清野 一榮	田中 元
○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○

定例会一般質問等のラジオ放送

本会議の傍聴やインターネットでの中継視聴ができない方のため、ラジオ放送もしています。FMアップルウェーブ（周波数78.8メガヘルツ）で、一般質問等の様子を当日午後8時から放送します。※緊急時、災害時には変更される場合もあり。

委員会行政視察

議会改革特別委員会

5月19日(月)～20日(火)
①千葉県船橋市
○正副議長選挙について

会派一般行政視察

弘前さくら未来

7月8日(火)～10日(木)
①京都府京田辺市
○部活動地域移行について
②神奈川県横須賀市
○エンディングプラン・サポート事業について



京田辺市にて

所属会派の異動

(令和7年5月15日付)

無所属(弘心)工藤 光志議員が、
会派 弘前さくら未来の所属となりました。

ひろさき みらい 弘前さくら未来

◎竹内 博之 工藤 裕介
樋川 篤子 成田 大介
工藤 光志

※敬称略。◎は会派代表者。議席番号順に記載。

各委員の異動

(令和7年5月23日付)

【議会改革特別委員会】

辞任 成田 大介
就任 石岡 千鶴子

※敬称略。

議会選出各種委員等を選任

常任委員等の改選にあわせ、各種委員等が議会から選出されました。(※敬称略。議席番号順に記載。)

○津軽広域連合議会議員

須藤江利加 竹内 博之
坂本 崇 石山 敬
木村 隆洋 蒔苗 博英
佐藤 哲

○弘前地区消防事務組合議会議員

工藤 裕介 竹浪 敦
畑山 聡 千葉 浩規
松橋 武史 田中 元

○弘前地区環境整備事務組合議会議員

志村 洋子 三浦 行
成田 大介 齋藤 豪
蛭名 正樹 外崎 勝康
三上 秋雄

○弘前市都市計画審議会委員

工藤 賢生 樋川 篤子
蛭名 正樹 松橋 武史

委員会等活動報告

議会改革特別委員会

4月22日(火) 市役所
①議員定数に関することについて
②議員選出監査委員に関することについて
③請願者による意見陳述について
④次の委員会の開催日について

5月29日(木) 市役所
①行政視察の総括について
②請願者による意見陳述について
③議員研修会の実施について
④次の委員会の開催日について

6月24日(火) 市役所
①正副議長に関することについて
②議員定数に関することについて
③議員選出監査委員に関することについて
④次の委員会の開催日について

ひろさき市議会だより 編集特別委員会

4月23日(水) 市役所
①掲載内容について
②その他
6月6日(金) 市役所
①弘前市議会「議会だより」一般質問等の編集方針の見直し等について
7月2日(水) 市役所
①掲載内容について
②編集日程について

表紙の写真大募集!!

- ◎テーマ 弘前市内で撮影された写真(風景・まつり・イベントなど)
- ◎規格 デジタル写真データ(JPEG形式、サイズ1MB以上、横撮りのみ)
- ◎応募資格 弘前市に在住・在勤・在学の方
- ◎応募方法 写真のタイトル(10文字以内)・撮影場所・撮影日・住所・氏名・電話番号を明記の上、メール、郵送、持参。※メールの場合は、件名に「だより表紙写真」と入力してください。
- ◎締め切り 締め切りは令和8年1月9日(金)です。
- ◎掲載時期 令和8年3月発行予定の第85号
【詳しくはホームページ、または議会事務局へ】

議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

議会(本会議、委員会など)は原則、どなたでも傍聴でき、市役所前川本館4階で受付しております。

開かれた議会を目指し、より傍聴しやすい環境づくりを行うため、弘前市議会は6月に傍聴規則の一部を改正し、体調管理のための水分補給に限り傍聴席へのペットボトル飲料の持ち込みを認めるなどの改正を行いました。

次回定例会日程(予定)

(8月22日(金)) 議会運営委員会 会期日程等の協議
8月29日(金) 開会日(本会議) 開会、会期の決定、提案理由の説明
10月2日(木) 閉会日(本会議) 各委員長の報告、質疑討論、表決、閉会

※日程については、議会開会前にホームページ等でご確認ください。